



2017年度 京都府立大学 初級地域公共政策士 政策能力プログラム（基礎）募集要項

公共政策学部では、公共政策分野でのキャリアアップや再チャレンジを目指す大学生や社会人に対し、本学部の科目を体系的に編成したプログラムを開講し、「初級地域公共政策士」資格制度と連動させることで、地域を担う市民、そして高度の専門的職業人を養成します。

初級地域公共政策士とは？

2011年度からスタートした京都発の地域資格です。地域公共政策の担い手に求められる能力を育成するプログラムを履修し、12ポイントを取得すれば、認定機関である（一財）地域公共人材開発機構から職能資格「初級地域公共政策士」が付与されます。この資格プログラムは京都の9大学等で実施されています。

→→→→ 資格の特徴 ←←←←

1. どのようなプログラムで、どのような能力を得たのかははっきり「見える」。
2. 学問的資格でもあり、職能的資格でもある。
3. 外部の評価機関にプログラムの質保証（社会的認証）を受けている。
4. EU の教育・職能資格で用いられる EQF（※）レベルを参照している。

※European Qualifications Framework の略

詳細は、（一財）地域公共人材開発機構の HP <http://www.colpu.org> をご覧ください。

初級地域公共政策士 資格取得までの流れ

初級地域公共政策士プログラム（政策能力プログラム（基礎）） 受講申込

* 受講（継続）申込書は毎年コーディネーター宛に提出する必要があります。[毎年4月末、9月末締め]

初級地域公共政策士プログラム（政策能力プログラム（基礎）） 受講

（一財）地域公共人材開発機構に申請

「初級地域公共政策士」認定

- ※ 本学は京都府立林業大学校と協定を結んでおり、林大生は研修員としてプログラムに参加します。
- ※ 「グローバル人材資格プログラム」については別途学生便覧、パンフレット等をご覧ください。
- ※ 資格希望者は、各プログラムを履修した上で「初級地域公共政策士」資格の認定にあたり、資格認定料を（一財）地域公共人材開発機構（COLPU）へ支払う必要がありますのでご注意ください。

政策能力プログラム（基礎） 初級地域公共政策士プログラム（学部レベル/EQF6）

- ① 目的：本プログラムは、国や地方自治体の公共政策をわかり、つくることができる基礎的な能力を持った人材の育成を目的としています。そうした人材は政府・民間非営利・市場の各部門を維持し発展させる中心となる人材と考えます。
- ② 目標：本プログラムでは、政策形成における協働やファシリテーションの必要性が理解でき、与えられたテーマについて個別的な施策・事業をつくる能力、さらに国や地方自治体の評価制度から得られる情報を活用する能力を身につけることができるようになることを目標としています。
- ③ アウトカム（プログラム修了時に獲得することが期待される能力）：以下のとおり

達成目標	地域社会の改革や発展のための計画やプログラムの策定を、主体的に実行することができる（6-0-2）
知識	<ul style="list-style-type: none"> ・グローバル化する世界と地域社会の関係を理解している（6-1-1） ・様々な政策や地域の活動を対象とする客観的な分析と評価を理解している（6-1-2） ・対象となる課題群の相互関係を把握し分析することができる（6-1-3） ・地域社会における様々な活動と、活動をにう主体との関係の実践的把握（6-1-4）
技能	<ul style="list-style-type: none"> ・地域における複雑な課題群について、その解決に必要な要素の特定と解決のためのプログラムの提示及び適用ができる（6-2-1） ・対象となる政策・事業に関する事後評価手法の設計ができる（6-2-2） ・対象となる業務の進行に必要な利害関係者間の調整と協働関係の構築ができる（6-2-3） ・対象となる政策・事業に関する事後評価手法の詳細な設計ができる（6-2-4）
職務遂行能力	<ul style="list-style-type: none"> ・地域社会における特定の計画やプロジェクト策定を主導することができる（6-3-1） ・特定の計画・事業の全プロセスを責任を持って推進し、構成員を組織的に活用することができる（6-3-2）

④ 2017 年度 開講科目一覧

科目名	開講	ポイント数	担当者	概要など
市民参加論	前期	2ポイント	杉岡秀紀	協働とファシリテーションの技法を学び、模擬的な市民参加・ワークショップを体験する。
公共政策学入門Ⅱ	後期	2ポイント	窪田好男	政策のよしあしの見分け方とよい施策・事業のつくり方を学ぶ。
ケースメソッド自治体政策	前期	2ポイント	勝山 亨 窪田好男	公共政策学入門Ⅱで学んだ政策のよしあしの見分け方とよい施策・事業のつくり方を用い、グループワークで、個別具体的な相手に政策提言・改善提言を行う（アクティブ・ラーニング）。学部版のキャップストーン。
公共政策実習Ⅰ	通年	4ポイント	大島和夫 窪田好男 玉井亮子 竹部晴美	公共政策学入門Ⅱで学んだ政策のよしあしの見分け方とよい施策・事業のつくり方を実際に行われた政策とその形成プロセスに適用し議論する。
政策評価論Ⅰ	前期	2ポイント	窪田好男	政策評価の手法・制度・課題を学ぶとともに、自治体評価の現場を見学する。
政策評価論Ⅱ	後期	2ポイント	窪田好男	自治体評価の外部評価や事業仕分けを模擬体験することにより、政策評価論Ⅰで学んだ知識等の定着を図る。
実践セミナー	通年	2ポイント	京都政策研究センター	京都政策研究センターが主催する「連続自治体特別企画セミナー」（年5回）に参加することにより実践知からのエッセンスを学ぶ。

【コーディネーター】川瀬光義教授／窪田好男教授／松岡京美准教授／玉井亮子准教授

* プログラムや資格に関する質問や成績の異議申立などの窓口になります。どのコーディネーターにお尋ね頂いても結構です。